

令和6年2月16日

保護者 様

愛西市立佐屋中学校長
吉次 章浩

令和5年度 学校評価について（報告）

余寒の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察いたします。平素は、本校の教育活動に深いご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、令和5年度の本校教育活動の保護者評価に参加していただき、重ねてお礼を申し上げます。

つきましては、下記の重点目標の達成状況を生徒・教師・保護者の三者で評価した結果を報告させていただきます。ご家庭で、お子様との話し合いの材料にいただければ幸いです。また、来年度の本校教育活動の礎とさせていただきます。

令和5年度 教育目標

「生きる力を育む」

- 複雑で予測困難となってきた世の中においても、たくましく生き抜くことができるよう「生きる力」を育みます。そのために、様々な状況を自分事として捉え、考え、行動する機会をつくります。
- 成功体験だけでなく、失敗からも学ぶことができる体制づくりに努めます。
- 生徒の安全、心の安定を第一に考え、周りの人との絆づくりに力を入れるとともに、生徒の不安や動揺をいち早く察知できる教師集団をつくります。
- SDGsが目指す「誰一人取り残さない」という理念を踏まえ、皆が安心して学習や学校生活を送ることができる学校を目指します。

資料

- 学校評価アンケートの分析及び考察

令和5年度 学校評価アンケートの分析と考察

愛西市立佐屋中学校

アンケート実施時期

令和5年12月11日（月）～12月20日（水）

アンケート対象・回答率

保護者83% 生徒88% 職員100%

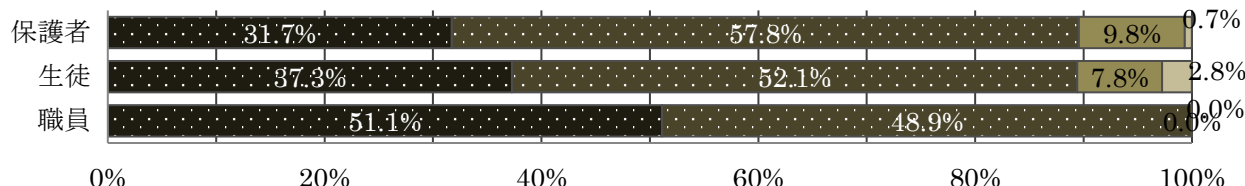
グラフの見方



1 ㊦佐屋中学校は、お子さんを「通わせたい」と思える学校になっていると思いますか。

㊦佐屋中学校は、「通いたい」と思える学校になっていると思いますか。

㊦佐屋中学校は、「通わせたい」「通いたい」と思える学校になっていると思いますか。



○成果と▲課題

○ 子どもの話から、担任の先生をはじめ学年の先生、他学年の先生と学校全体で子どもに携わっている様子がうかがえ、有難く思うとの意見があり、評価を得ている。

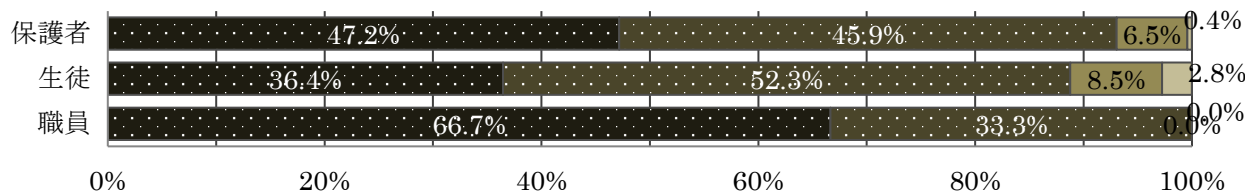
▲ 「先生の言葉遣いに気を付けてほしい」「挨拶を返さない先生がいる」との意見があり、信頼が得られるようにすることが大切である。

学校としての改善策

- ・ 誰もが安心・安全に過ごせる教育環境の提供、生徒一人一人への丁寧な指導・支援の充実と徹底に努め、地域や保護者から信頼される学校づくりを進めます。
- ・ 学校生活のあらゆる場面で、生徒を成長させる機会であると強く自覚し、信頼される職員であり続けるために職員相互の啓発と修養に努めます。

2 ㊦学校からの各種通信、HP、メール等で情報提供は役に立っていると思いますか。

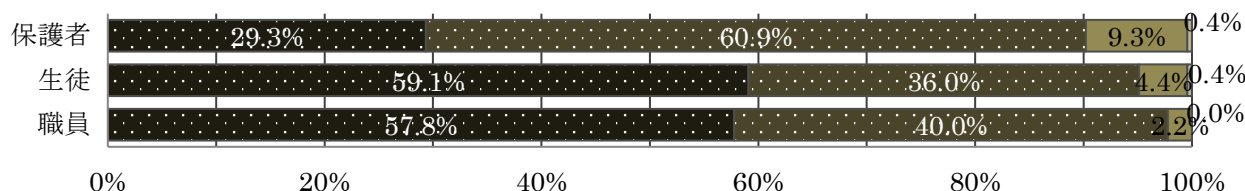
㊦学校から家庭への連絡、各種通信、HP、メール等での情報提供は役に立っていると思いますか。



3 ㊦学校は、子どもたちの成長につながる教育活動に学校全体で取り組んでいると思いますか。

㊦先生たちは、協力して生徒の成長のために取り組んでいると思いますか。

㊦学校は、子どもたちの成長につながる教育活動に学校全体で取り組んでいると思いますか。



○成果と▲課題

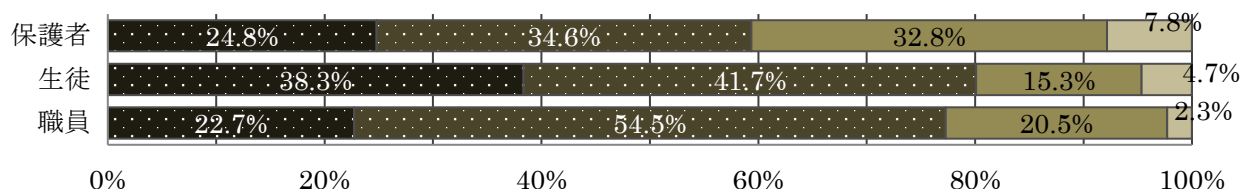
○ 「授業や部活動で元気な姿を見せてくれる」「機会あるごとに、生き生きとした子どもたちの姿を見ている」との意見があり、いろいろな体験を通して「生きる力」を身に付けてほしいとの評価を得ている。

▲ 定期テスト前や毎日の学習課題の量、市内の他中学校との取組や対応の遅速についての意見があり、生徒の実態に応じた学習計画の立案と学習指導をはじめとする支援・指導方法等の改善に努める必要がある。

学校としての改善策

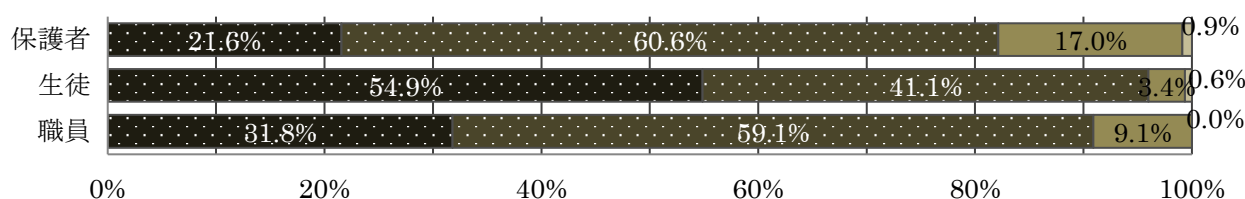
- ・ 学校での様々な教育活動を通して、生徒の成長を促すとともに、生徒の主体的な活動を展開できるように工夫・改善に努めます。
- ・ きめ細やかで質の高い学びの実現を目指すとともに、自己の将来を見通した主体的な取り組みが活発に行えるように努めていきます。
- ・ 職員研修などの機会を通して、時代のニーズを把握する感性を高め、支援・指導に生かすことができるようにします。

- 4 ㊦お子さんは、主体的に家庭学習に取り組んでいると思いますか。
 ㊦あなたは、主体的に家庭学習に取り組んでいると思いますか。
 ㊦自分は（本校では）、生徒が主体的に家庭学習に取り組めるような手立てを講じていると思いますか。



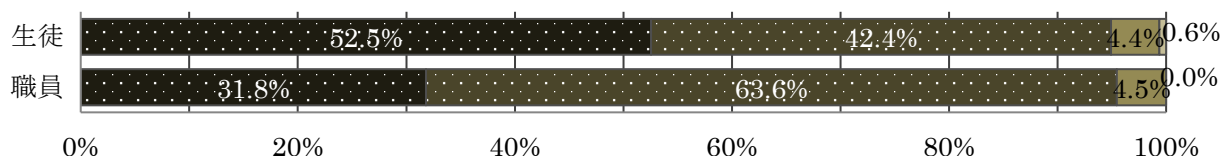
○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ 「課題が多い」「宿題は答えを丸写しにしている」「解答を無しにした方が勉強になる」との意見があり、課題の量や学習方法などについての改善が必要である。	・ 学校での学びを補充する学習として、家庭で自主的かつ継続的、個に応じた学習が進められるような学習方法の提供や学習計画に努めます。

- 5 ㊦授業では、生徒が考えたり、意見を交わしたりする活動を大切にしていると思いますか。
 ㊦先生たちは、授業の中で考えたり、意見を交わしたりする活動を大切にしていると思いますか。
 ㊦自分は（本校では）、「主体的・対話的で深い学び」を意識し、生徒同士の対話を広げられるような授業づくりに努めていると思いますか。

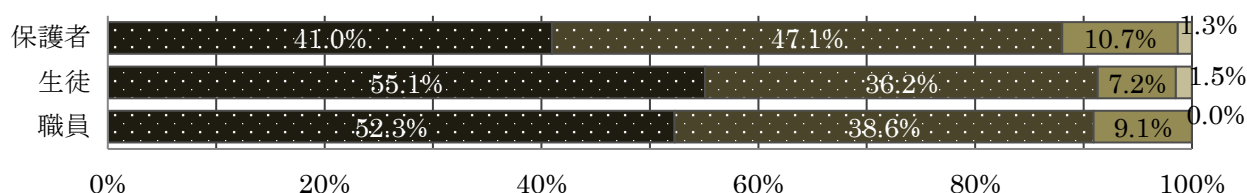


6（生徒と職員のみ）

- ㊦道徳の授業では、問題や課題について、自分の意見を発表したり、仲間と対話したりする機会があると思いますか。
 ㊦自分は（本校では）、「考え、議論する道徳」を意識した授業づくりができていると思いますか。

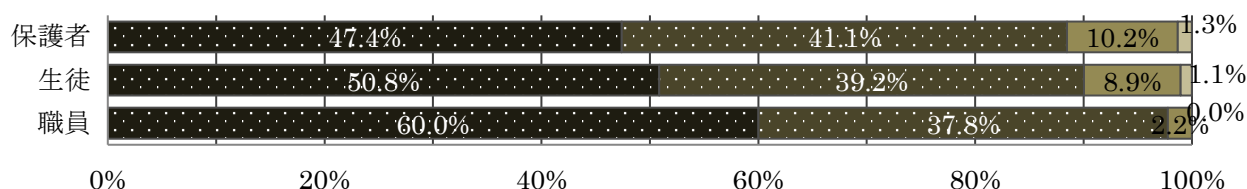


- 7 ㊦授業では、タブレット端末やＩＣＴ機器を取り入れた活動が増えていると思いますか。
 ㊦授業では、タブレット端末やＩＣＴ機器を取り入れることにより、理解しやすくなっていると思いますか。
 ㊦自分（本校）の授業では、タブレット端末やＩＣＴ機器を積極的に取り入れ、学習成果を高める工夫をしていると思いますか。



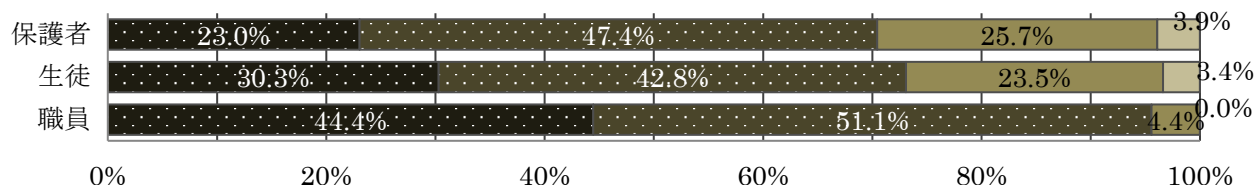
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 年々、生徒・職員ともにタブレット端末の操作が堪能になり、タブレット端末を使用した学習活動の幅が広がっている。また、意見集約などがスムーズに行うことができる。	・ 各教科で、さらに教育効果を高めるために活用方法や活用場面を工夫します。 ・ タブレット端末を家庭へ持ち帰る機会を増やし、家庭での利用推進を図ります。

- 8 ㊦お子さんは、学校の行事を楽しんだり、意欲的に参加したりしていると思いますか。
 ㊦あなたは、学校の行事に意欲的に参加していると思いますか。
 ㊦学校の行事は、生徒が主体的・意欲的に活動することができるよう企画して（されて）いると思いますか。



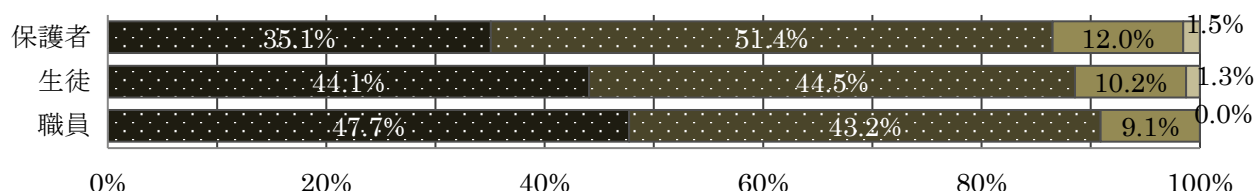
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 現行の行事に一定の評価をいただきながら、「他学年との交流機会を増やしてほしい」「地域の方と交流できるとよい」との積極的な意見をいただいている。	- ねらいを明確にするとともに、生徒の意見を取り入れながら、主体的な活動が進められるように計画・実施していきます。 - ねらいを達成するために、関係機関との連携し、外部講師を活用した取組を推進します。

- 9 ㊦お子さんは、失敗を恐れず挑戦しようとする気持ちが出てきていると思いますか。
 ㊦あなたは、失敗を恐れず挑戦しようとしたことがありますか。
 ㊦学校は、生徒が失敗を恐れず挑戦できる環境づくりに努めていると思いますか。



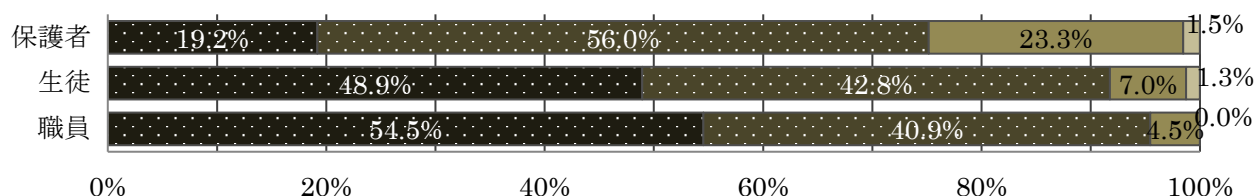
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 学校生活において、“挑戦しよう”、“やってみよう”という雰囲気が定着し、生徒による工夫された取組が行われるようになってきている。 ▲ 失敗したときに周囲から笑われたり、責められたりしないかと心配している生徒がいる。	失敗したとき、うまくいかなかったときこそが成長や学びの機会であると捉え、生徒による主体的な活動を後押しするとともに、不安解消に努めていきます。

- 10 ㊦お子さんは、挨拶や返事など基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。
 ㊦あなたは、挨拶や返事などがしっかりできていると思いますか。
 ㊦挨拶や返事などが、しっかりできる生徒が増えてきたと思いますか。



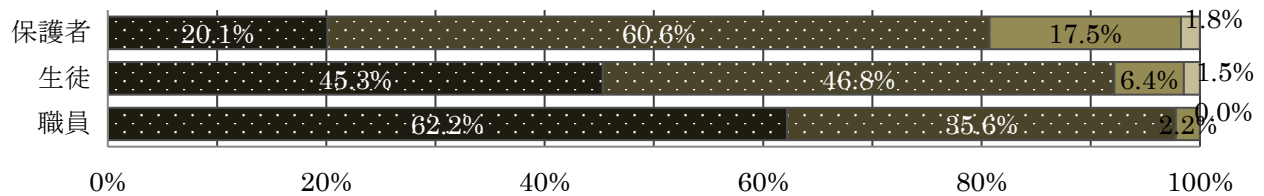
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「校内で生徒とすれ違うと元気よく挨拶をしてくれ、自然と笑顔になり元気をもらえる」との意見があり、挨拶の励行が定着している。 ▲ 「先生が生徒に挨拶を返さない」との意見があり、改善が必要である。	- 学校生活を通して、挨拶や返事を基本とする生活習慣の定着や社会性の育成を図ります。 - 挨拶は、生徒とのコミュニケーションや信頼関係構築の第一歩であると共通認識し、職員の意識を高めていきます。

- 11 ㊦学校は、いじめアンケートや教育相談活動などを丁寧に行っていると思いますか。
 ㊦先生は、悩みや相談などを丁寧に聞いていますか。
 ㊦自分は（本校では）、生徒の悩みや相談などを丁寧に聞いたり、誠実に対応したりしていると思いますか。



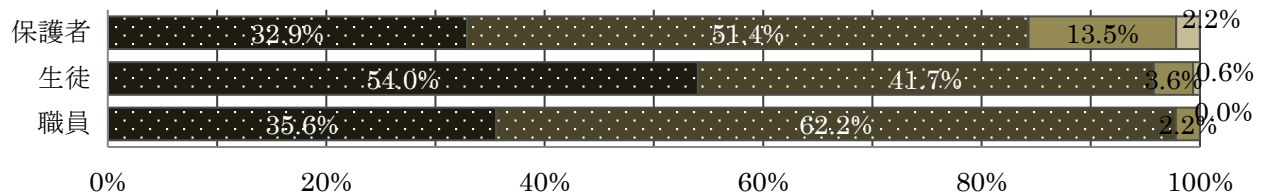
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 計画的なアンケートや教育相談により、生徒の悩みや相談内容をタイムリーに把握し、早期解決につながるが増えている。 ▲ 「いじめを無くしてください」「気軽に相談できる場所をつくってほしい」と、不安解消や相談活動の充実を望む意見があり、対策が必要である。	- 全職員が生徒一人一人に目を向け、学校全校としての生徒支援や個別対応を進めていきます。 - スクールカウンセラーなどの活用促進を図るとともに、相談しやすい環境づくりに努めます。

- 12 ㊦学校は、問題の未然防止や早期解決・解消のために迅速な対応をしていると思いますか。
 ㊦先生は、困ったとき、嫌なことがあったときなど、すぐに対応していると思いますか。
 ㊦学校は、問題の未然防止や早期解決・解消のために迅速な対応をしていると思いますか。

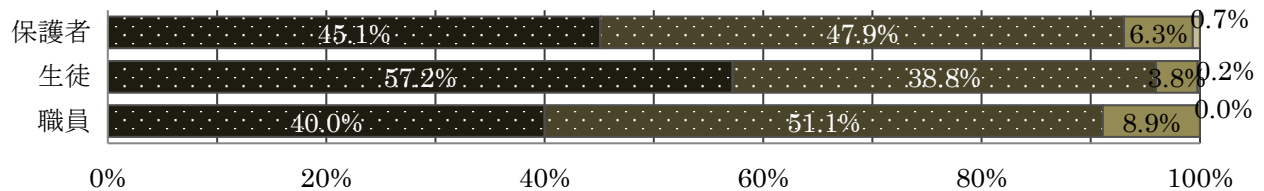


○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「今のように多感な子どもたちに寄り添ってほしい」「学校全体で子どもに携わっていただいている様子がうかがえる」との意見があり、評価を得ている。 ▲ 「先生の指導や対応が追いついていないと聞くと心配である」との意見があり、安心して過ごすことができる学校であるために、組織としての対応が必要である。	・ 校内での情報共有を確実に行うとともに、担任だけに任せないなど、指導方法の改善や生徒への丁寧な対応をより徹底していきます。 ・ スクールカウンセラーの活用や専門機関との連携を強化し、生徒のみならず保護者の不安解消に努めます。 ・ 家庭との連携を大切にし、協働して子どもの健全育成を図ることができるよう努めます。

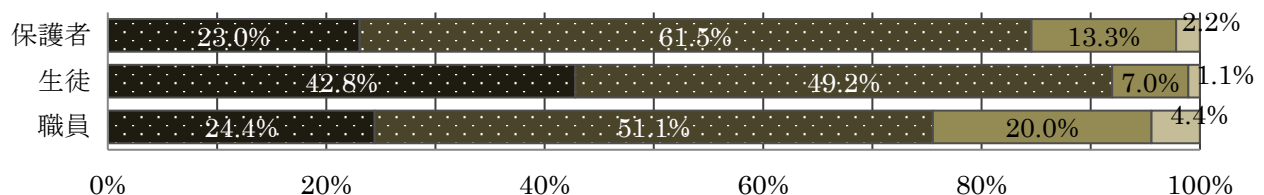
- 13 ㊦お子さんは、約束やきまりを意識した生活をしていると思いますか。
 ㊦あなたは、約束やきまりを意識して生活をしていると思いますか。
 ㊦生徒は、約束やきまりを意識した生活をしていると思いますか。



- 14 ㊦お子さんは、まわりの人を大切にして生活をしていると思いますか。
 ㊦あなたは、まわりの人を大切にして生活をしていると思いますか。
 ㊦生徒は、まわりの人を大切にして生活していると思いますか。



- 15 ㊦学校の施設は、安心・安全に過ごすことができる環境になっていると思いますか。
 ㊦学校施設は、生徒が安心して過ごすことができる環境になっていると思いますか。

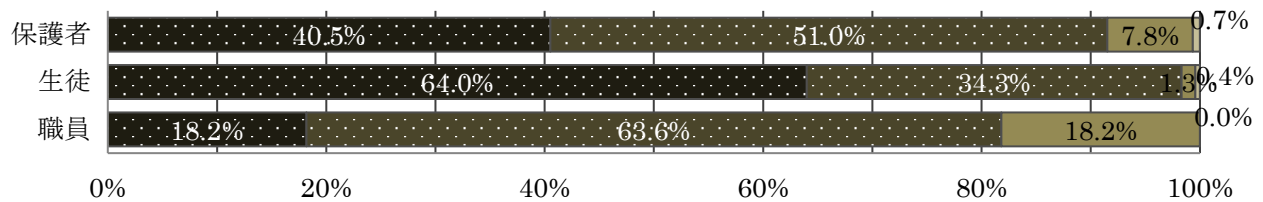


○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ 毎年のように「トイレを洋式化してほしい」「トイレの臭いが気になる」「施設の老朽化が心配である」との意見があり、市当局と連携しながら順次改修していく必要がある。	・ 生徒の安全対策と教育環境の充実を重点とした整備・修繕を進めるとともに、継続して市当局へも施設改修についての要望を行っていきます。 ・ 自分たちでできる日常の清掃活動をはじめ、PTAやボランティア団体、地域と連携して環境整備に取り組んでいきます。

16 ㊦お子さんは、登下校の際、交通ルールや交通マナーを守っていると思いますか。

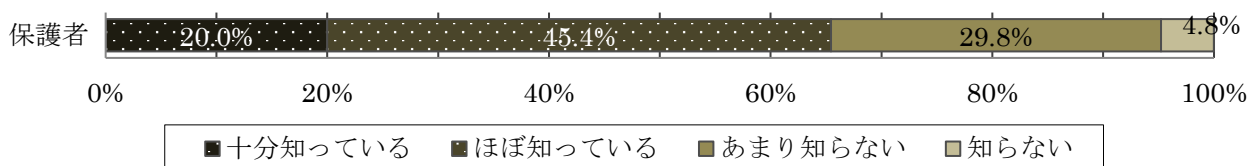
㊦あなたは、登下校の際、交通ルールや交通マナーを守っていると思いますか。

㊦生徒は、登下校の際、交通ルールや交通マナーを守っていると思いますか。

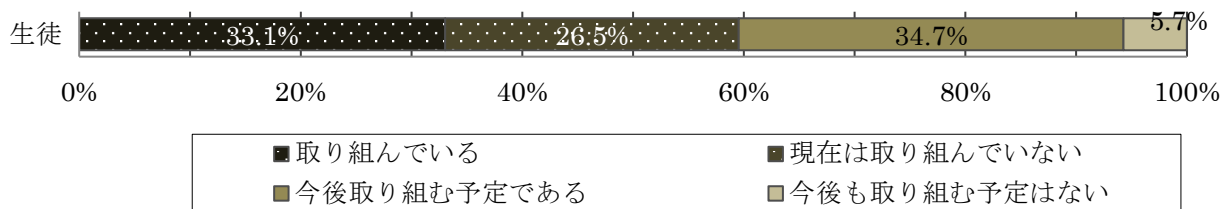


○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ 「自転車通学者が道いっぱいに広がっていて危険である」「自転車の乗り方について指導してほしい」との意見があり、さらに安全指導を徹底する必要がある。 ▲ 生徒の自転車マナーや登下校時の状況について、地域から心配な声をいただいている。	- 職員による交通安全指導を継続するとともに、外部団体による指導の機会を活用し、安全意識の啓発と事故防止に継続して取り組みます。 - 生徒の安全確保に向け、登下校指導による実態把握と対応策を検討し、指導を行います。

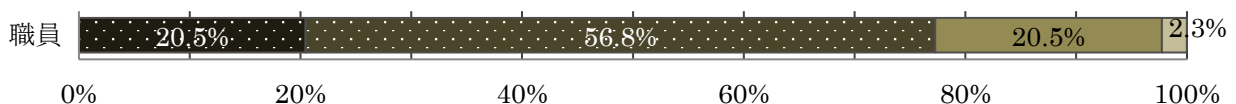
17 ㊦佐屋中学校がSDGsに取り組んでいることを知っていますか。



㊦あなたは、SDGsに関する学習を通して、自分で何かできることに取り組んでいますか。



㊦自分は（本校では）SDGsの意義を理解し、指導に生かすことができていると思いますか。



○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ SDGsの意義や身近な取組について再確認し、実践を促す必要がある。 ▲ 年間の指導計画への位置付けを行い、教育活動とのバランスが取れた実施を目指す必要がある。	教育活動において、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点とSDGsを関連させ、環境問題や差別、人権問題に取り組み、持続可能な社会づくりに関わる教育活動を計画的に推進します。

— ご意見に対する回答 —

すべてのご意見を掲載することはできませんでしたが、すべてのご意見を生徒にとってよりよい形に変えて取り組んでまいります。

Q.1 校則を見直してほしい。

A 校則の見直しが目目されるようになり、本校では、以下のように令和3年度より生徒会を中心に見直しの議論をスタートさせ、頭髪規定の改正を進めました。

【令和3年度】

- ・生徒会を中心に校則の見直しを議論
- ・全校生徒へアンケート調査を実施し、「頭髪」について見直すことを決定

【令和4年度】

- ・生徒会執行部と学年代表者によるプロジェクトチームを発足

〈活動内容〉

- ・高校生（卒業生）へのインタビュー調査
- ・近隣の高校への電話インタビュー調査
- ・企業への電話インタビュー調査
- ・地域の方への街頭インタビュー調査
- ・学校祭や全校朝礼での報告
- ・調査結果を受け、全校生徒への再アンケート調査

【令和5年度】

- ・生徒会執行部を中心に、引き続き調査活動と校則改正案を検討

〈活動内容〉

- ・保護者へのアンケート調査
- ・全校朝礼での報告
- ・学級活動「頭髪による印象の違いを考えよう」
- ・校則改正案を教員へ提案
- ・修正案を教員へ提案

- ・臨時生徒総会に校則改正案が可決
- ・校長へ校則改正案の提出
- ・試行期間を設定（問題点の改良、ルール of 制定）

【令和6年度】

- ・正式実施の予定

校則とは、学校が教育目的を達成するために必要であり、合理的な範囲内において定められるものです。今後は、今回の頭髪規定の見直しをきっかけに、その他の内容についても実態を把握し、生徒や保護者等の要望を踏まえた上で検討・議論を重ね、新しい時代を生き抜く人材を育成する意味でも校則の見直しを進めていきます。

Q.2 トイレの洋式化や施設の老朽化対策を進めてほしい。

A 未改修のトイレについては、市当局へ継続して改修要望を行っていきます。また、老朽化している施設についても、同様に市当局へ継続して設置要望を行っていきます。

現状では、トイレを含めた既存の施設や設備をきれいに保つために、日常の清掃活動や学校としてできる範囲の改修を行っています。また、PTAやボランティア団体等と連携した環境整備活動を進めています。今後も、多くの生徒や保護者のご協力をお願いします。

Q.3 今後の部活動の継続と活動時間をもう少し長く確保してほしい。

A スポーツ庁と文化庁が進める「部活動の地域連携・地域移行」の動きと関連し、今後は、学校での部活動の在り方がさらに変化することが予想されます。市教育委員会や関係団体等と連携しながら、学校を含めた地域で生徒が活動する場の確保に努めていきます。

また、個々の目標に応じて、地域のスポーツ団体や文化団体、習い事に参加したり、将来に向けて資格を取得したりするなど、学校以外の地域で活動することも応援していきます。

学校評価の意見欄には、励ましや感謝の言葉も数多くいただきました。また、生徒からは、改善案も書かれており、よりよい学校にしていきたいという思いが伝わってきました。
今後も、誰からも信頼される、魅力的な学校づくりに努めていきます。